参考資料２－１

経営比較分析表（令和6年度決算）

福島県　郡山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A1	自治体職員

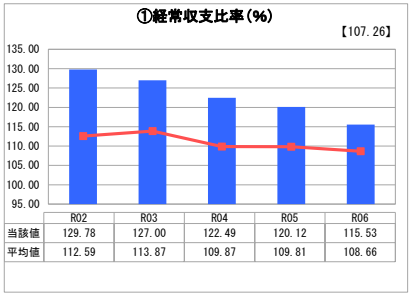
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m³当たり家庭料金(円)
-	91.58	98.81	3,212

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
312,433	757.20	412.62
現在給水人口(人)	**給水区域面積(km²)**	**給水人口密度(人/km²)**
307,238	293.28	1,047.59

グラフ凡例
- ■　当該団体（当該値）
- ー　類似団体平均値（平均値）
- 【】　令和6年度全国平均

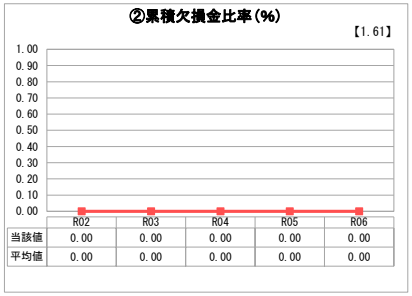
1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【107.26】



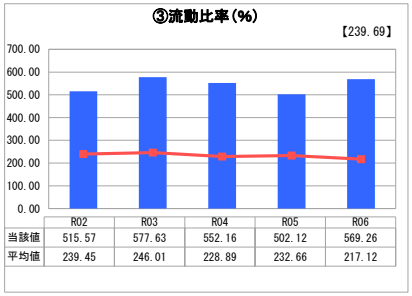
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	129.78	127.00	122.49	120.12	115.53
平均値	112.59	113.87	109.87	109.81	108.66

②累積欠損金比率(%)　【1.61】



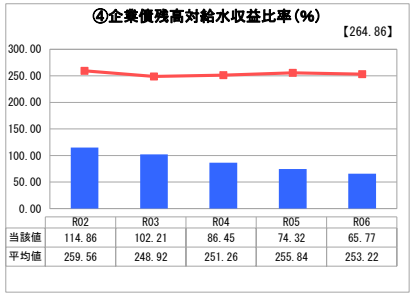
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

③流動比率(%)　【239.69】



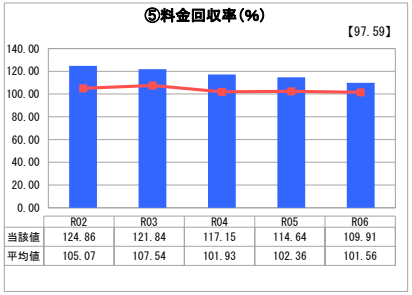
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	515.57	577.63	552.16	502.12	569.26
平均値	239.45	246.01	228.89	232.66	217.12

④企業債残高対給水収益比率(%)　【264.86】



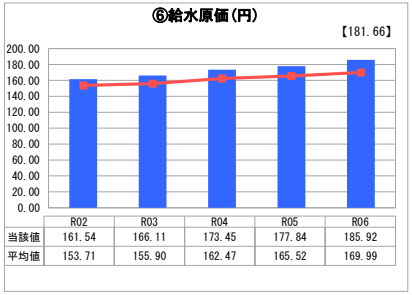
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	114.86	102.21	86.45	74.32	65.77
平均値	259.56	248.92	251.26	255.84	253.22

⑤料金回収率(%)　【97.59】



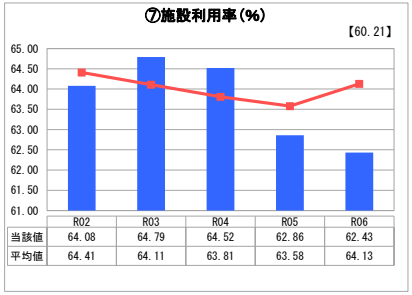
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	124.86	121.84	117.15	114.64	109.91
平均値	105.07	107.54	101.93	102.36	101.56

⑥給水原価(円)　【181.66】



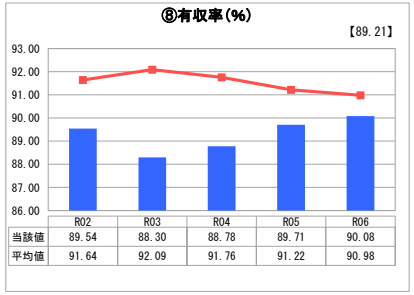
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	161.54	166.11	173.45	177.84	185.92
平均値	153.71	155.90	162.47	165.52	169.99

⑦施設利用率(%)　【60.21】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	64.08	64.79	64.52	62.86	62.43
平均値	64.41	64.11	63.81	63.58	64.13

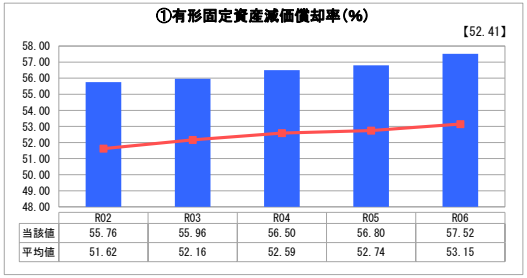
⑧有収率(%)　【89.21】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	89.54	88.30	88.78	89.71	90.08
平均値	91.64	92.09	91.76	91.22	90.98

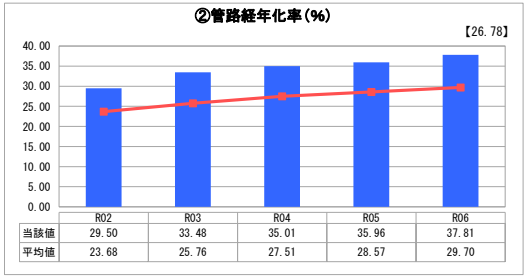
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【52.41】



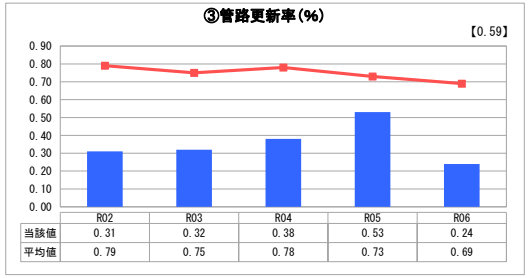
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	55.76	55.96	56.50	56.80	57.52
平均値	51.62	52.16	52.59	52.74	53.15

②管路経年化率(%)　【26.78】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	29.50	33.48	35.01	35.96	37.81
平均値	23.68	25.76	27.51	28.57	29.70

③管路更新率(%)　【0.59】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.31	0.32	0.38	0.53	0.24
平均値	0.79	0.75	0.78	0.73	0.69

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②累積欠損金比率
　毎年経常収支比率は減少しており、5年間で約14%減少したが、類似団体と比べ良好な水準にある。
③流動比率
　流動比率は増加したが、繰越工事による現金繰越がある。類似団体の平均より大きい。
④企業債残高対給水収益比率
　新たな企業債借入れをせず、順調に償還を行い減少傾向にあり、類似団体と比べ良好な水準にある。
⑤料金回収率
　毎年給水原価が増加しているため、料金回収率は減少しており、５年間で約15%減少した。類似団体と比べ良好な水準にある。
⑥給水原価
　物価高騰により給水原価は増加を続けているため、資産維持費が減少し、施設更新費の財源を圧迫している。
⑦施設利用率⑧有収率
　施設利用率は、毎年減少傾向にあるが、６０%台である。類似団体と比べ少し低い。また、有収率は９０%に回復したが、類似団体よりも少し低く、今後も有収率向上に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
　償却対象資産の増加率よりも減価償却累計額の増加率の方が上回るため、本指標は増加傾向にあり、老朽化が進んでいる。類似団体と比べ高い水準にある。
②管路経年化率
　昭和40年代から昭和50年代に整備した多くの管路が法定耐用年数を超えるため、今後も上昇傾向にある。類似団体と比べても、高い水準にある。
③管路更新率
　基幹管路を優先的に更新しているため管路更新延長が伸びず、類似団体と比べ低い水準にある。
　耐用年数だけではなく、ＡＩ等の活用により、真に老朽化した管路を見極め、効率的に更新を行うことが重要である。

全体総括

　現在の経営状況については、比較的良好な状況であると考えられるが、給水原価の上昇と料金回収率の減少により、老朽化した水道施設の更新費用への財源が圧迫されている。
　また、人口減少・世帯構成の変化などの社会動態の変動や、節水型社会への移行による水需要の減少が予想される中、施設の老朽化の進行に伴い、施設の更新需要が増大していく。
　このことから、今後もアセットマネジメント手法による長寿命化、事業の平準化及び予防保全型維持管理による維持管理費用の縮減を図りながら、将来の水需要に見合った施設の統廃合や性能の合理化等により、効率的・効果的な更新・修繕を計画的に推進するなどの経営に努め、健全性を確保していく必要がある。

経営比較分析表（令和6年度決算）

福島県　郡山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	自治体職員

資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m³当たり家庭料金(円)
-	83.49	0.82	2,013

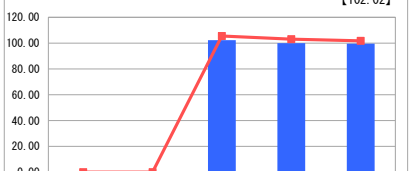
人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
312,433	757.20	412.62
現在給水人口(人)	**給水区域面積(km²)**	**給水人口密度(人/km²)**
2,557	191.22	13.37

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

【102.02】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	102.33	100.03	99.57
平均値	-	-	105.52	103.10	101.77

②累積欠損金比率(%)

【26.96】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	0.00	0.00	0.00
平均値	-	-	30.01	27.32	16.12

③流動比率(%)

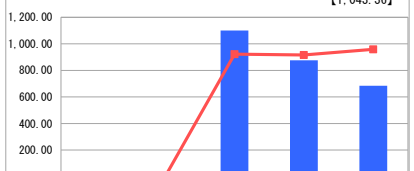
【142.39】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	25.61	23.57	32.79
平均値	-	-	249.43	217.55	157.71

④企業債残高対給水収益比率(%)

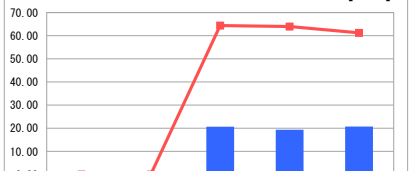
【1,043.36】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	1,100.91	876.19	683.89
平均値	-	-	922.05	916.17	958.97

⑤料金回収率(%)

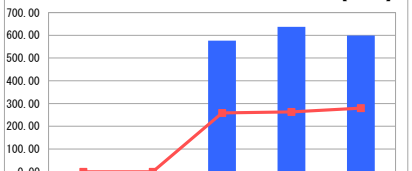
【56.19】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	20.64	19.36	20.72
平均値	-	-	64.39	63.95	61.25

⑥給水原価(円)

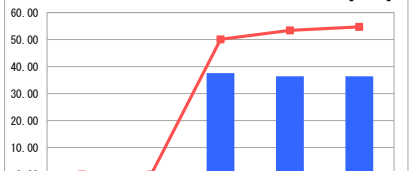
【285.60】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	576.30	636.85	598.83
平均値	-	-	258.90	263.56	279.83

⑦施設利用率(%)

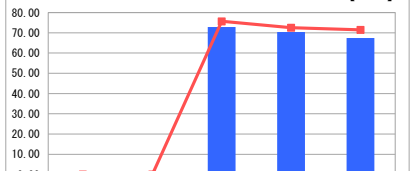
【48.33】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	37.54	36.38	36.41
平均値	-	-	50.07	53.40	54.69

⑧有収率(%)

【70.34】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	72.84	70.43	67.44
平均値	-	-	75.70	72.53	71.44

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

【35.50】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	6.84	13.62	19.74
平均値	-	-	42.98	40.46	37.10

②管路経年化率(%)

【16.16】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	1.21	1.21	1.21
平均値	-	-	23.24	22.77	18.22

③管路更新率(%)

【0.28】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	0.00	0.00	0.00
平均値	-	-	0.39	0.49	0.32

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②累積欠損金比率、③流動比率
経常収支比率は、一般会計からの繰入金により100%台で推移している。不足分は一般会計繰入金によって補填しているため、余剰資金を持たないことから流動資産は少ない。また、欠損金は生じていない。
④企業債残高対給水収益比率
企業債残高は減少しているものの、収益額が低いため、類似団体の平均値と同水準である。給水収益の改善のため、水道料金の改定を令和１３年度までに３回に分けて実施予定であり、１回目の値上げは令和４年に実施済みである。料金収入の増加によって、比率は減少する見込みである。
⑤料金回収率
料金回収率は横ばいで推移しており、類似団体と比較して依然低い数値となっている。給水原価に対して供給単価が非常に低い割合であり、水道料金の改定を令和１３年度までに３回に分けて実施予定であるため、今後は料金回収率の増加が見込まれている。
⑥給水原価
人口密度が低いため、建設投資の効率が悪く、給水原価は類似団体平均値よりも高い水準となっている。今後は、更なる費用削減に向けた取組みが必要である。
⑦施設利用率
人口減少に伴い、一日の平均配水量も併せて減少傾向にあるが、大型連休や盆などの特定時期に配水量が増加することもあるため、現時点で施設の規模は現状維持とするが、施設を更新する際には、利用状況等を踏まえ、適正な規模を検討していく必要がある。
⑧有収率
類似団体の平均値よりも低く、不明水対策も含めた有収率向上策を検討する必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
比較的施設が新しいため、類似団体の平均と比べると低い水準である。
②管路経年化率
管路は平成５年度以降に設置したものが多く、管路経年化率は低い水準であることから、直近での管路更新は要しないが、将来的には、中長期の経営見通しを踏まえた適切な投資により計画的に更新を実施する必要がある。

全体総括

令和４年度から１３年度にかけて３回に渡り料金値上げを行い、経営改善を図る。また、老朽化等による施設の更新は今後の経営状況を踏まえ、計画的に実施していかなければならない。
令和４年度から地方公営企業法を適用したことで、資産・負債等のストック情報の的確な把握が可能となったことから、経営基盤の強化と財務マネジメントの向上を図っていく。
今後は、料金改定と法適用の一体的な実施により経営状況の改善を図り、「安全な水道水の安定した供給」を将来にわたり持続可能なものとしていく。

経営比較分析表（令和6年度決算）

福島県　郡山市

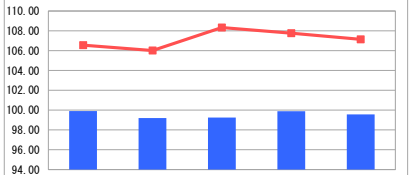
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ad	自治体職員
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	60.43	75.68	78.73	3,066

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
312,433	757.20	412.62
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
235,315	47.65	4,938.41

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【105.36】



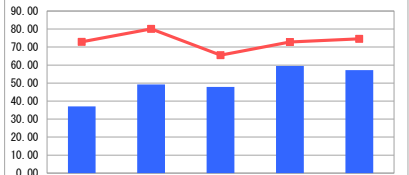
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	99.90	99.19	99.24	99.88	99.57
平均値	106.55	106.01	108.33	107.76	107.14

②累積欠損金比率(%)　【3.12】



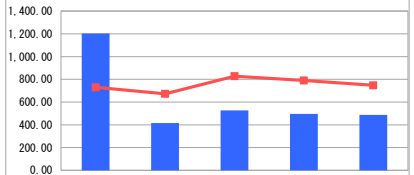
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	5.95	5.27	1.28	1.02	1.06

③流動比率(%)　【82.75】



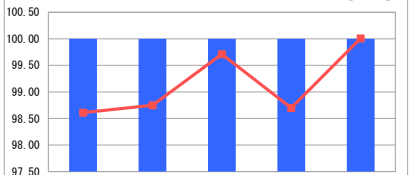
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	37.00	49.25	47.89	59.47	57.17
平均値	72.93	80.08	65.51	72.78	74.56

④企業債残高対事業規模比率(%)　【602.56】



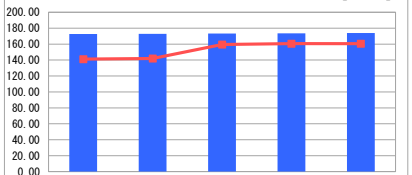
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	1,202.77	415.88	526.95	495.49	487.49
平均値	730.52	672.33	827.43	790.32	747.33

⑤経費回収率(%)　【97.94】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
平均値	98.61	98.75	99.71	98.70	100.01

⑥汚水処理原価(円)　【140.98】



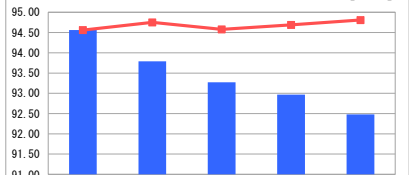
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	172.74	172.98	173.38	173.44	173.87
平均値	141.24	142.03	159.59	160.65	160.60

⑦施設利用率(%)　【60.13】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	-	-
平均値	61.70	63.04	64.45	65.11	65.54

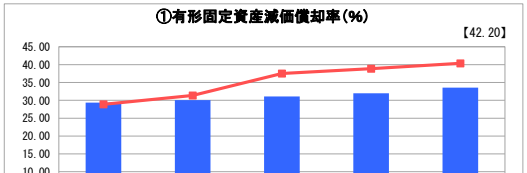
⑧水洗化率(%)　【96.00】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	94.56	93.79	93.27	92.97	92.48
平均値	94.56	94.75	94.58	94.69	94.81

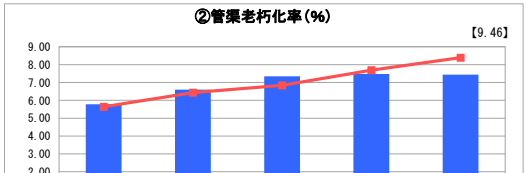
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【42.20】



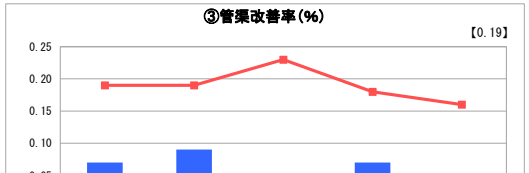
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	29.36	30.05	31.06	31.97	33.54
平均値	28.87	31.34	37.51	38.87	40.36

②管渠老朽化率(%)　【9.46】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	5.78	6.60	7.34	7.47	7.44
平均値	5.64	6.43	6.84	7.69	8.39

③管渠改善率(%)　【0.19】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.07	0.09	0.03	0.07	0.02
平均値	0.19	0.19	0.23	0.18	0.16

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②累積欠損金比率、③流動比率
　経常収支比率は、基準内繰入金によって収支が均衡しているため、100%の水準である。流動資産の増加率が大きく、流動比率は増加した。
④企業債残高対事業規模比率
　企業債残高は減少し本指標の比率は減少した。類似団体と比べ低い水準にある。
⑤経費回収率
　不足分について補填する一般会計繰入金は、その全てが基準内繰入金であるため、経費回収率は100%であり、類似団体と比べ同水準にある。
⑥汚水処理原価
　不足分を基準内繰入金で補填していることから、汚水処理原価は使用料収入に影響を受ける。類似団体と比べ高い水準である。
⑦施設利用率、⑧水洗化率
　公共下水道では、処理場を持っておらず、県中浄化センターで処理している。水洗便所設置済人口は微減したが、新規面整備により処理区域内人口は微増したため、水洗化率は微減し、類似団体の平均をやや下回る水準である。
　人口減による使用料の減少が見込まれる中、自立した経営に向け、未接続世帯への普及啓発活動をより一層強化することなどにより使用料の確保に努めるとともに、経費節減に取り組み、経営の改善を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
　償却対象資産の増加率よりも減価償却累計額の増加率の方が上回るため、本指標は増加傾向にあり、老朽化が進んでいるが、類似団体の平均値を下回る水準である。
②管渠老朽化率、③管渠改善率
　法定耐用年数を超える管渠が増加傾向にあるため、今後も老朽化率は高くなる傾向にあり、類似団体の平均と同水準である。
また、改善管渠延長の減少により管渠改善率は減少し、類似団体と比べ低い水準にある。

　今後増加する更新需要に備え、老朽施設の増加に留意し、管渠改善率の向上を図っていく必要がある。

全体総括

　経費回収率は１００%を満たしているが、これは一般会計繰入金(基準内)によるものである。今後は、人口減少等による社会動態の変化を的確に捉え、使用料や有収水量の確保に向け効果的な普及啓発活動について研究し実施していくとともに、民間委託の拡大や施設の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減等により、経営の改善を図っていく必要がある。
　また、建設開始後50年を経過している管渠が増加傾向であるため、予防保全の観点から管渠の状態を適時調査・確認し、計画的な修繕を行うとともに、施設の更新については、ストックマネジメント計画に基づき長寿命化による投資の平準化の推進が必要である。

経営比較分析表（令和6年度決算）

福島県　郡山市

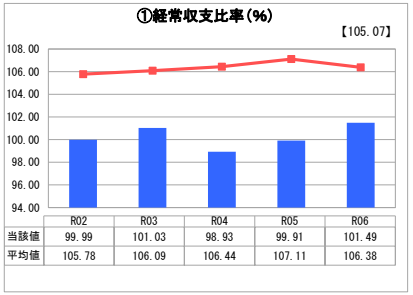
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	自治体職員
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	56.63	0.72	93.77	3,066

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
312,433	757.20	412.62
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
2,253	1.56	1,444.23

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

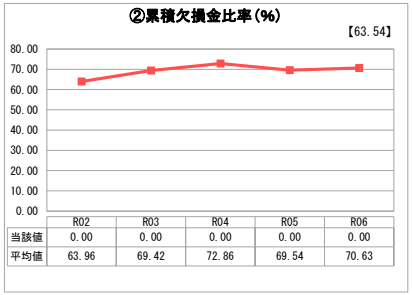
1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【105.07】



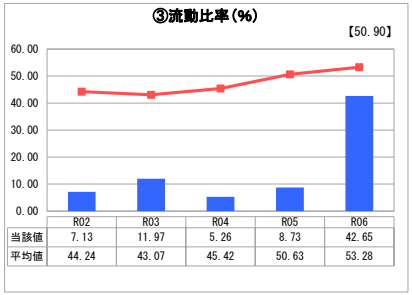
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	99.99	101.03	98.93	99.91	101.49
平均値	105.78	106.09	106.44	107.11	106.38

②累積欠損金比率(%)　【63.54】



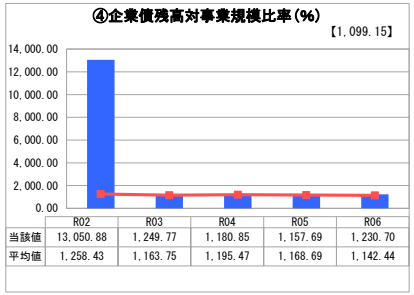
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	63.96	69.42	72.86	69.54	70.63

③流動比率(%)　【50.90】



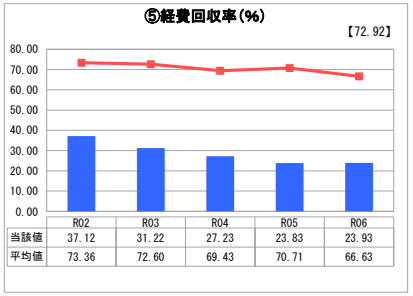
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	7.13	11.97	5.26	8.73	42.65
平均値	44.24	43.07	45.42	50.63	53.28

④企業債残高対事業規模比率(%)　【1,099.15】



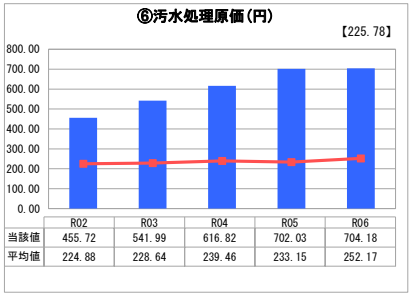
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	13,050.88	1,249.77	1,180.85	1,157.69	1,230.70
平均値	1,258.43	1,163.75	1,195.47	1,168.69	1,142.44

⑤経費回収率(%)　【72.92】



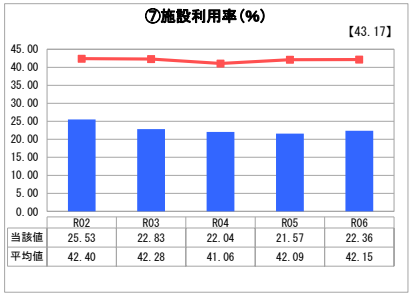
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	37.12	31.22	27.23	23.83	23.93
平均値	73.36	72.60	69.43	70.71	66.63

⑥汚水処理原価(円)　【225.78】



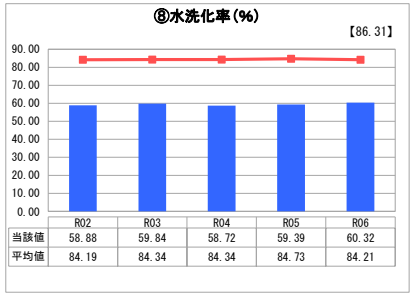
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	455.72	541.99	616.82	702.03	704.18
平均値	224.88	228.64	239.46	233.15	252.17

⑦施設利用率(%)　【43.17】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	25.53	22.83	22.04	21.57	22.36
平均値	42.40	42.28	41.06	42.09	42.15

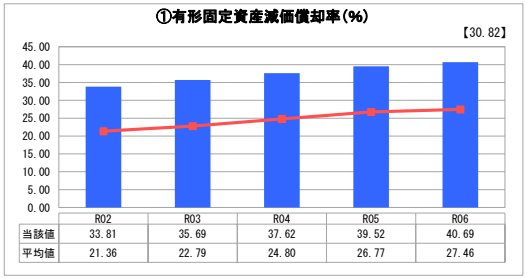
⑧水洗化率(%)　【86.31】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	58.88	59.84	58.72	59.39	60.32
平均値	84.19	84.34	84.34	84.73	84.21

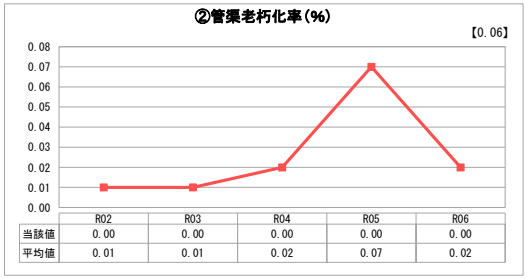
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【30.82】



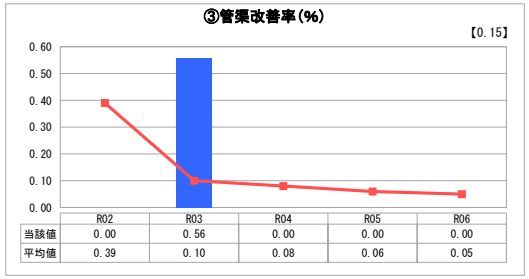
	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	33.81	35.69	37.62	39.52	40.69
平均値	21.36	22.79	24.80	26.77	27.46

②管渠老朽化率(%)　【0.06】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.01	0.01	0.02	0.07	0.02

③管渠改善率(%)　【0.15】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.56	0.00	0.00	0.00
平均値	0.39	0.10	0.08	0.06	0.05

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②累積欠損金比率、③流動比率
　経常収支比率は100%で推移しているが、不足分は一般会計繰入金によって補填しているため、流動比率は低い水準にあり、類似団体と比べても低い。また、欠損金は生じていない。
④企業債残高対事業規模比率
　企業債残高対事業規模比率は横ばいであり、類似団体と同水準である。
⑤経費回収率
　維持管理費を使用料収入で賄うことができないため、経費回収率は100%に満たない。類似団体と比べ低い水準にある。
⑥汚水処理原価
　維持管理費の増加や有収水量の減少に伴い汚水処理原価は増加傾向にある。類似団体と比べ高い水準にある。
⑦施設利用率、⑧水洗化率
　人口減少により水洗化人口が減少しており、平均処理水量が減少、施設利用率は減少し、類似団体と比べ低い水準にある。

　人口減による使用料の減少が見込まれる中、未接続世帯への普及啓発活動をより一層強化することなどにより使用料の確保に努めるとともに、経費節減に取り組み、経営の改善を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
　減価償却累計額が増加傾向にあるため、有形固定資産減価償却率は増加傾向であり老朽化が進んでいる。類似団体の平均値と比較すると高い水準である。
②管渠老朽化率、③管渠改善率
　法定耐用年数を超えた管渠はなく、管渠改善も突発的な修繕等への対応である。

　今後の更新需要に備え、適時、適切な調査等を行っていく必要がある。

全体総括

　本事業は、市内同一の汚水処理サービスのため、下水道使用料と同額としている。一般会計繰入金により欠損金は発生していないものの、汚水処理費を使用料で回収できていない状況を踏まえ、経費節減に努めるとともに、使用料や有収水量の確保に向け、効果的な普及啓発活動について研究し実施していくことで、経営の改善を図っていく必要がある。
　特に、水洗化率は横ばい傾向が続き60%と低いことから、人口減少や高齢化の進行が早い当該地区の実情に配慮したきめ細やかな普及啓発活動が必要となる。
　また、管渠を含めた資産の老朽化度合は低い状態である。今後は予防保全の観点から状態を適時調査・確認し、計画的な修繕を行うとともに、施設の更新については、ストックマネジメント計画に基づき長寿命化による投資の平準化の推進が必要である。

経営比較分析表（令和6年度決算）

福島県　郡山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	自治体職員
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	70.77	3.53	96.87	3,066

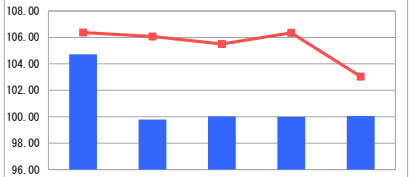
人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
312,433	757.20	412.62
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
10,971	15.22	720.83

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

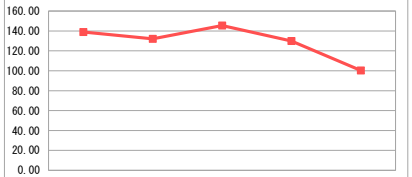
【104.30】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	104.72	99.78	100.03	99.99	100.05
平均値	106.37	106.07	105.50	106.35	103.04

②累積欠損金比率(%)

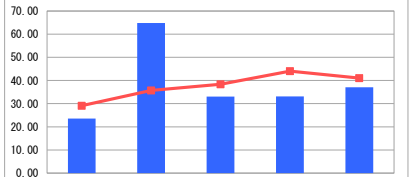
【102.74】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	139.02	132.04	145.43	129.89	100.31

③流動比率(%)

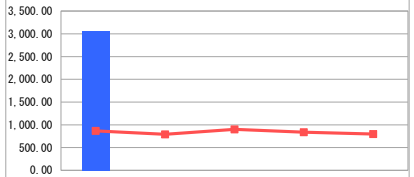
【47.19】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	23.58	64.85	33.04	33.12	37.08
平均値	29.13	35.69	38.40	44.04	41.03

④企業債残高対事業規模比率(%)

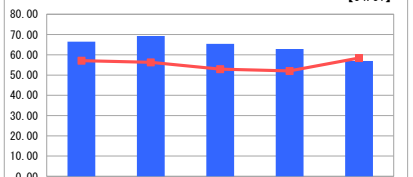
【798.10】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	3,064.99	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	867.83	791.76	900.82	839.21	796.80

⑤経費回収率(%)

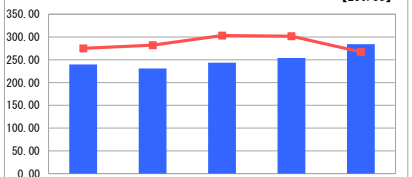
【54.51】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	66.51	69.23	65.43	62.87	56.95
平均値	57.08	56.26	52.94	52.05	58.41

⑥汚水処理原価(円)

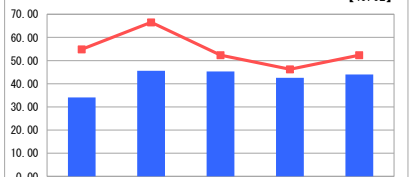
【286.33】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	239.86	230.85	243.78	253.83	284.48
平均値	274.99	282.09	303.28	301.86	267.34

⑦施設利用率(%)

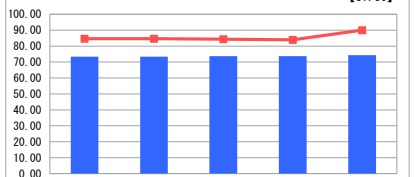
【49.92】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	34.11	45.60	45.27	42.54	43.97
平均値	54.83	66.53	52.35	46.25	52.34

⑧水洗化率(%)

【87.80】

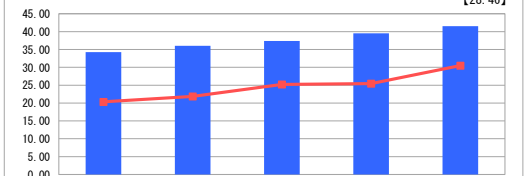


	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	73.38	73.38	73.76	73.67	74.31
平均値	84.70	84.67	84.39	83.96	90.05

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

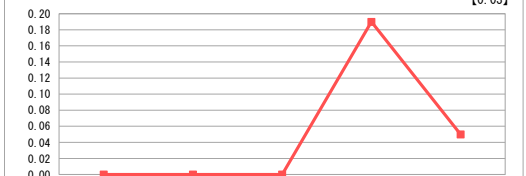
【28.46】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	34.25	36.03	37.38	39.53	41.53
平均値	20.34	21.85	25.19	25.46	30.49

②管渠老朽化率(%)

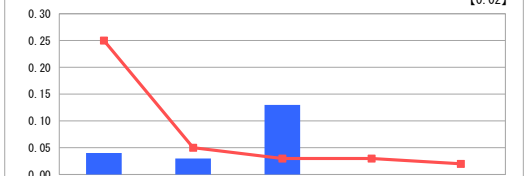
【0.03】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.00	0.00	0.00	0.19	0.05

③管渠改善率(%)

【0.02】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.04	0.03	0.13	0.00	0.00
平均値	0.25	0.05	0.03	0.03	0.02

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②累積欠損金比率、③流動比率
　経常収支比率は、一般会計の繰入により100%で推移している。不足分を一般会計繰入金によって補填しているため、流動比率は低い水準である。なお、欠損金は生じていない。
④企業債残高対事業規模比率
　企業債残高と一般会計の負担額が同額のため、比率は0%である。
⑤経費回収率
　現状の使用料水準では、維持管理費を使用料収入で賄うことができないため、経費回収率は100%に満たないが、類似団体と比べるとやや上回る水準にある。
⑥汚水処理原価
　維持管理費の増加により汚水処理原価は増加した。類似団体の平均値と比べるとやや上回る水準にある。
⑦施設利用率、⑧水洗化率
　類似団体と比べ施設利用率が低い水準にあるが、これは水洗化率が類似団体と比べて低いためだと考えられる。

　人口減による使用料の減少が見込まれる中、自立した経営に向け、未接続世帯への普及啓発活動をより一層強化することなどにより使用料の確保に努めるとともに、経費節減に取り組み、経営の改善を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
　減価償却累計額の増加のため本指標は増加している。今後もこの傾向は続くと見込まれ、類似団体の平均値と比べると高い水準である。
②管渠老朽化率、③管渠改善率
　法定耐用年数を超えた管渠はなく、管渠改善も突発的な修繕等への対応である。

　今後の更新需要に備え、適時、適切な調査等を行っていく必要がある。

全体総括

　本事業は、市内同一の汚水処理サービスのため、下水道使用料と同額としている。一般会計繰入金により欠損金は発生していないものの、汚水処理費を使用料で回収できていない状況を踏まえ、経費節減に努めるとともに、使用料や有収水量の確保に向け、効果的な普及啓発活動について研究し実施していくことで、経営の改善を図っていく必要がある。
　特に、水洗化率が70%台と低いことから、人口減少や高齢化の進行が早い当該地区の実情に配慮したきめ細やかな普及啓発活動が必要となる。
　また、管渠を含めた資産の老朽化度合は低い状態ではある。今後は、予防保全の観点から状態を適時調査・確認し、計画的な修繕を行うとともに、施設の長寿命化や公共下水道への接続替え等の計画により、改築更新費及び維持管理費の削減を図っていく必要がある。